

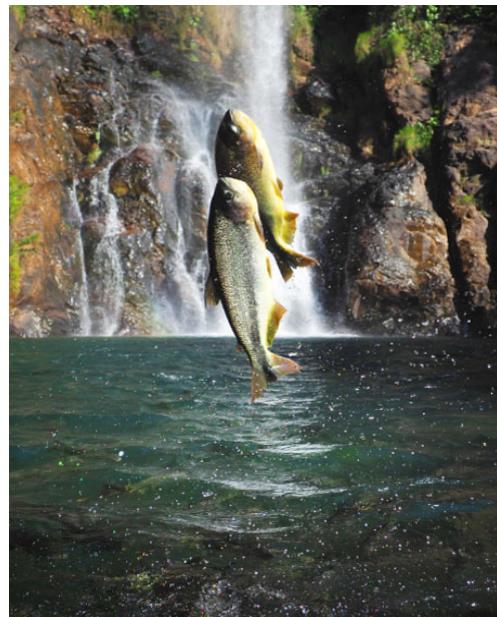
2018年10月2日

2019年オリンパス／WWFカレンダー**「Wisdom of the Wild／時の鼓動。生命の躍動。」**

オリンパス株式会社(社長: 笹 宏行)は、世界的な動物写真家の岩合光昭氏が撮り下ろした写真による、2019年オリンパス／WWFカレンダー「Wisdom of the Wild／時の鼓動。生命の躍動。」を製作しました。本カレンダーはWWFジャパン(公益財団法人世界自然保護基金ジャパン)で販売され、利益はWWFの地球環境保全活動に役立てられます。

南アメリカ大陸の中央部に位置する世界最大級の大湿原、パンタナール。その地の水は、上流では高い透明度を誇り、ジャガーやカピバラの暮らす川の水に姿を変えながら動物たちの命を育んでいます。今回、この水と躍動する動物との関係に迫り、その姿を機動性の高いミラーレス一眼カメラ「OLYMPUS OM-D」で捉えました。

本カレンダーは1986年よりオリンパスが毎年製作してWWFジャパンへ寄贈しており、2019年度版で34年目を迎えます。



©Mitsuaki Iwago

●岩合光昭氏による撮り下ろし

いつか必ずパンタナールに訪れたいと切望していた動物写真家 岩合光昭氏が、3回にわたる撮影取材を敢行し、本カレンダーのために撮り下ろした作品です。長年にわたり数多くの動物を撮影している岩合氏ならではの美しい瞬間が捉えられています。

●WWF の地球環境保全に貢献

1986年から毎年WWF ジャパンに寄贈しているカレンダーは、10月下旬からWWFの通販パンダショップ(<http://shop.wwf.or.jp/>)で1部1,400円(税別)で販売されます。その全ての利益はWWFの地球環境保全活動に役立てられます。

※[WWF:World Wide Fund for Nature 世界自然保護基金]

世界100カ国以上で活動する地球環境保全団体です。絶滅の恐れのある野生生物の保護を目的として、1961年にスイスで設立されました。現在は、森や海などの生物多様性を保全すること、木材や魚介類など自然資源の利用を持続可能なものにすること、地球温暖化を防ぐことなどに力を注ぎ、人と自然が共存できる社会の実現を目指しています。

●地球に優しいカレンダー

PVC(ポリ塩化ビニール)やらせん金属を使用しない設計で、すべてのページにFSC(森林管理協議会)の認証紙を使用するなど、地球環境保全に配慮して製作しています。また、月ごとに切り捨てる必要のないブックタイプのため、使用後には写真集としてもご利用いただけます。

●人にも優しいカレンダー



色覚の個人差を問わずに多くの方がご覧になりやすいように、カラーユニバーサルデザイン(CUD)に配慮して製作しています。カラーユニバーサル認証はCUDO(NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構)により、カラーユニバーサルデザインが実現できたと確認された場合に発行される第三者認証です。

●岩合光昭（いわごうみつあき）氏 略歴

1950年生まれ、動物写真家。1980年、第5回木村伊兵衛写真賞を受賞。独自の色やコントラストを持ち、想像力をかきたてる作品は「ナショナル・ジオグラフィック」誌の表紙を2度飾るなど、全世界で高く評価されている。長年オリンパスのカメラを愛用し、現在もOM-D E-M1を手に、シャッターを切り続けている。近年はライフワークともいえるネコの撮影にも力を入れており、NHK BSで「岩合光昭の世界ネコ歩き」が好評放映中のほか、同名写真展を日本各地で開催している。

さらなる情報は以下の公認コンテンツをご参照ください。

[IWAGO] : www.olympus.co.jp/brand/iwago

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。